

令和6年度事業報告書
法人の名称 NPO法人 神奈川区多文化共生の会

<事業概要>

今年度の事業は以下の助成金と業務委託金を活用し、相談窓口チーム、日本語支援チーム、地域連携・人材育成チーム、多文化共生チームの4チームでラウンジ事業運営を行い、令和6年4月1日～令和7年3月31日の神奈川区多文化共生ラウンジでの相談件数は1,109名、多目的コーナ利用人数は延べ6,706名でした。相談内容の内訳は行政関係が406件（37%）、日本語支援・学習支援が335名（30%）、ボランティア・イベント関係が308名（28%）でした。

また、団体会員が5団体増え11団体、個人会員は8名増え36名、ラウンジで活動する学習支援教室が4教室、日本語支援教室が8教室になり、来年度に向け活動の幅を広げるために助成金申請を13件行いました。

1. 補助金（472,000円）

- （1）第2回 JA 横浜子どもの未来支援助成：172,000円
- （2）NPO活動基盤づくり補助金：300,000円

2. 業務委託金（22,698,000円）

- （1）令和6年度神奈川区多文化共生ラウンジ管理運営委託：22,500,000円
- （2）令和6年度神奈川区「第9回アフリカ開発会議横浜開催推進事業」業務委託：198,000円

<実施した事業>

（1）相談窓口事業（8,182,538円）

【翻訳・通訳】

- ☐外国人の生活向上に関する事柄について、窓口スタッフが対応可能な範囲で通訳を行いました。
- ☐区役所発行の多言語資料の翻訳を行いました。

【HP/SNS】

- ☐SNSを用いた情報提供としてラウンジオープンよりfacebook、2025年3月よりinstagramを開設しました。
- ☐SNSのフォロワーから情報収集としてはオープンチャットを開始して情報提供を始めました。
- ☐イベントカレンダーで多言語窓口相談曜日が分かるようにしました。
- ☐外国人が参加・活躍したイベントをHPやSNSで伝えました。
- ☐日本語支援ボランティア募集、ラウンジカフェトークなどのチラシをHPに掲載し、周知しました。
- ☐8月よりactivoでのボランティア募集も開始しました。

【ニーズ調査】

- ☐困っている事、改善点を気軽に提案してもらう“ご意見箱”を設置しました。

【情報提供】

- ☐月1回程度の“ラウンジカフェトーク”“手作りを楽しもう”などの誰でも来所しやすいイベントを行いました。
- ☐サインージュシステム多言語情報掲示板を設置し、重要なお知らせやイベント情報を提供しました。

- ☐住まいや生活に関する問題などかながわ外国人すまいサポートセンターなどと連携して、地域に定着するためのサポートを行いました。
- ☐地域消防団へ依頼し、救急救命（AED・コミュニケーション支援ボード・消火器）研修をスタッフ・会員・ボランティアに対して実施しました。
- ☐YOKE・他ラウンジの研修や活動の案内を行いました。区役所広報の配架も行いました。
- ☐運営準備段階から他区ラウンジ（いそご）に OJT 研修を実施しました。
- ☐大学生・大学院生のインターン、ボランティア活動へ協力し、ラウンジでイベントを開催しました。更に、学生の研究テーマに即したヒアリングに、協力しました。
- ☐YOKE、他区ラウンジ情報、区役所広報などを配架しました。
- ☐相談窓口利用者・オープンチャット利用者に対して、生活・イベント情報提供を行いました。

【資料作成】

- ☐団体登録方法やラウンジ利用方法に関するマニュアルを整備し、団体登録を開始しました。
- ☐窓口運用マニュアルの作成・整理として、相談内容の情報共有、引継ぎ伝達、統計データ作成のために日報や相談記録シートの KINTONE 運用を始めました。
- ☐他相談機関の情報収集を行い、“神奈川区くらしの情報”を検討後に「ウエルカムキット」を作成し、戸籍課・済生会病院に配置、神奈川大学留学生に配布しました。
- ☐ラウンジ利用・相談統計数を毎月作成し神奈川区に提出しました。
- ☐情報ファイル（様々な情報をテーマ別にまとめた冊子）を設置しました
- ☐ラウンジニュース第 1 号を、発行し、区役所や他ラウンジに送りました。
- ☐ラウンジパンフレットを作成し、各所に配置しました。
- ☐ハマハグ・クールスポットの対応をしました。
- ☐台風接近時、HP に臨時休館の緊急テロップを流し、利用者へ休館情報を迅速に提供しました。

（２）日本語支援事業（２，５８９，５８９円）

【講座】

- ☐夜間・土日開館日に開催する日本語教室を設置するために、２０２５年２月２３日からボランティア養成講座（全５回）を神奈川区多文化共生ラウンジで開催しました。３０名×５日
- ☐８月から英語と日本語の会話講座を日曜の午前中に毎週開催し、毎回２０名程度が参加しました。

【ボランティア育成】

- ☐神之木・新子安、菅田地域のボランティア代表者と連携強化に向け話し合いを行いました。
- ☐カフェトークをからのボランティア希望者を各日本語教室に紹介しました。

【研修・交流】

- ☐日本語支援グループ交流会兼代表者会議を開催しました。
(９月２１日、１２月２２日、３月２０日)

（３）地域連携・人材育成事業（２，４４２，８７９円）

【ボランティア育成】

- ☐令和６年度「外国につながる中学生への学習支援ボランティア養成講座」（全４回毎週土曜、１４：００-１６：００①６/２２、１９名、②６/２９、２１名、③７/６、２２名、④７/１３、２２名）をラウンジで実施しました。
- ☐講座修了後「もしかめ」という学習支援活動団体の立ち上げ支援を行いました。ラウンジで週２回、

月曜 16:00-17:30、土曜：14:00-15:30 に学習支援を行っています。

□神奈川区内で中学生向けに学習支援教室を実施している支援者向けに「外国につながる中学生への学習支援ボランティアフォローアップ講座」をラウンジで、11/16（16:00-18:00）に実施しました。

【研修講座】

□スタッフ、ボランティア会員へ人権研修（6/7、参加者 19 名）行政書士研修（6/12、参加者 17 名）（11/13）をラウンジで実施しました。

□個人情報保護研修をスタッフに対してラウンジで実施しました（2025/3/24、スタッフ 19 名）

□多文化共生講座（共生のまちづくりネットワークよこはまとの共催）「多文化共生について考える～私らしくあるために～」をラウンジで実施しました（6/23、14:00-16:00、参加者 27 名）。

□今年度講座「外国につながる中学生への学習支援ボランティア養成講座」、「外国につながる中学生への学習支援ボランティアフォローアップ講座」の実施報告冊子作りを行いました。

【学習支援者交流会】

□学習支援団体代表者交流会を実施し、児童・生徒に寄り添う支援のための話し合い、情報交換を行いました。（8/26、9/28、10/26、12/21、3/1）

【学校連携】

□神奈川大学との連携（相談窓口、多文化共生と協力）かながわユースフォーラムとの共催、多文化交流会「みんなのあそび場」をラウンジで実施（5/18、参加者 33 名）。2 回目（6/9、参加者 19 名）ははーと友で実施しました。

□神奈川翠嵐高校（定時制）との連携：七夕祭り（7/5、ラウンジより 5 名参加）、クリスマス会など
□浦島丘中学校との連携：学校での夏休み学習支援教室（7/22、5 名、7/23、4 名）の参加を経て、浦島丘中学校コミュニティハウスで毎週木曜 15:30-17:00、外国につながる中学生の学習支援教室を開始しました。

【行政連携】

□都筑区の民間企業連携事例をつづき MY ブラザ館長より伺いました（6/19 Bosch 区民文化センター、DE&I フェスティバルなど）。

【民間企業連携】

□「無印良品 500 シアルプラット東神奈川」がラウンジで防災講座を実施しました（8/24、参加者 27 名）

□技能実習生への日本語支援（毎週火曜 18:30-20:00）を実施しました。

□PAL システムからの依頼で「ウクライナ避難民交流会」への参加しました（7/14、理事 2 名）。

□済生会神奈川県病院を訪問しました

（2/6、見学 理事 2 名、病院施設内の会議室等の活用）

【自治会連携】

□ラウンジがある西富町内会加入。（7 月）夏祭り、正月の餅つきなどに学習支援に来ている外国につながる子どもたちと参加しました。

【商店街・会連携】

□片倉商店会のイベント参加を検討しました。

（3/29 当日雨天のため見学から来年度何が出来るかを検討）

（4）多文化共生事業（2,943,926 円）

【自主事業】

□学校通訳の体制づくり：学校現場（浦島丘中学校）や他ラウンジ（港北ラウンジ・いそごうラウンジ）

ジ) の通訳派遣状況を見学しました。来年度からの実施に向けて、業務内容や予算を検討して、準備しました。

【イベント開催】

- 開所 1 周年記念も兼ねて、TICAD 9 プレイベント（神奈川区役所と共催、地域連携事業と協力）「アフリカンパーカッションで多様な世界とコミュニケーション♪」を開催しました。（参加者 214 名）
- 区民まつり出店（インドネシア料理店・障がい者施設と共催）と、ネパールダンスをステージ発表しました。

□他団体主催のイベントに参加しました。

・湊フェスタ：学習支援教室と協力して、子ども考案のゲームコーナー

・みんな DE まつり：モンゴル茶、おでん販売

□異文化理解・多文化共生講座を開催しました。

・中華料理教室

・モンゴルのおはなし、ゲル工作

・「世界を学ぼう楽しもう」ネパール編

・「日本文化を知る」茶道

【イベント企画】

□外国人と日本人の交流イベントの企画・調整を行う外国人が中心となりネパールダンスを披露しました。（区民まつり、あーすフェスタ）、地球の木出店の手伝いをしました。

【新プログラム】

□乳幼児を育てる親とその子どもが集うプログラム、子育て支援拠点かなーちえ「多文化おしゃべり会」に、月 1 回、協力しました。

□小学校教育に関わる資料を、学習支援教室の協力を得て、収集しました。

□幼稚園、区内小中学校で異文化交流として、GENKIDS バイリンガル保育園と検討を始めました。

□生活に関わる専門相談の日を設置（行政書士週 1 回）しました。

【連携】

□ 8 月に学習支援・日本語教室と共催して、親子バス旅行を、夏休みに実施しました。

【情報提供】

□地域振興課へ、スタンプラリー・おやつイベントに協力する店舗を紹介しました。

□「外国につながる親子のための地域情報ファイル」を更新し、校長会と関係機関に配布しました。

□ラウンジで開催するイベントチラシなどを、繋がりのある市民団体・公共施設に、適宜届けました。

□各教室を市民活動参加のモデルとして、事例の発信を以下協力いただきました。

・学習支援ボランティア養成講座講師（友ゆうスペース、たいよう）

・主任児童委員連絡会（友ゆうスペース）

・生涯学級講座（友ゆうスペース、もしかめ、KANAK、反町にほんご教室、にほんごくらぶ）

【外国人サポート】

□防災に関する講座を開催しました。

・防災講座を、無印良品 500 シャルプラット東神奈川店と共催しました。

・防災食作りをテーマに、UR 団地・南神大寺団地自治会と、防災講座を共催しました。

・地域の消防団を講師に招き、子ども対象の防災・救命救急講座を、学習支援教室と共催しました。

・併せて、消防団への入団を促進しました。（希望者 1 名）

【ボランティア育成】

□留学や海外生活経験者など国際交流や多文化共生理解に関心のある人が、ボランティアに参加できる仕組みづくりとして、activo を活用し登録者をそれぞれ希望する活動へ紹介しました。